

第4回日高市巾着田利用調整協議会資料



2024年5月

人口：53,703人(2023年)

市域面積：47.48km²

隣接自治体：川越市・坂戸市・狭山市・鶴ヶ島市・飯能市・毛呂山町

主要交通手段：JR川越線・西武池袋線・圏央道(狭山日高IC・国道407号線・県道15号線

所在：埼玉県日高市高麗本郷

面積：エリア全体約25万m²(概算、県道15号線以南のエリア)

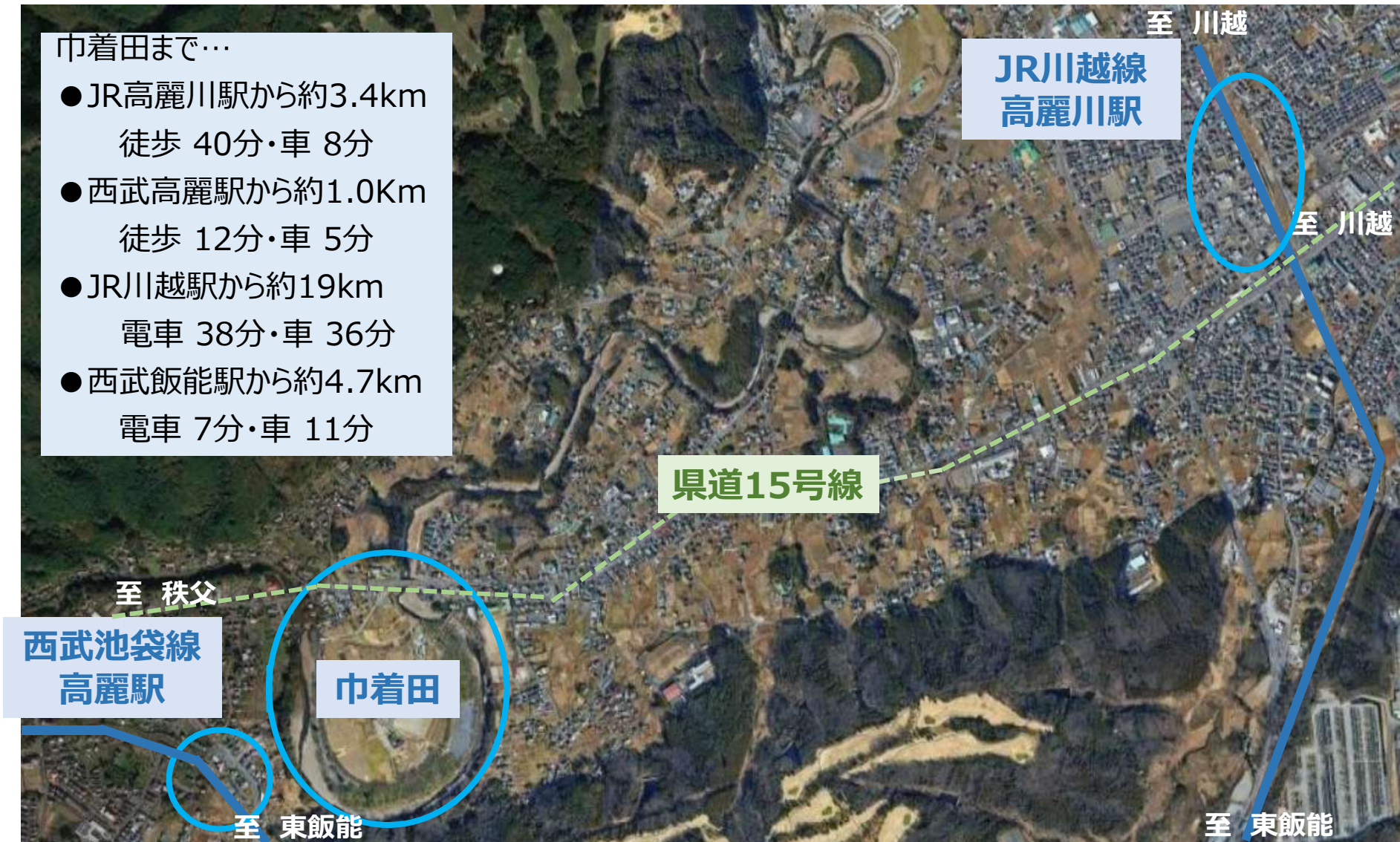
周辺の主要観光資源：巾着田(都市公園)・高麗神社・日和田山・サイボクの森・メッツアビレッジ(飯能市)

主なイベント：曼珠沙華祭り・春祭り

年間来場者数：約64万人(平成31年)

巾着田まで…

- JR高麗川駅から約3.4km
徒歩 40分・車 8分
- 西武高麗駅から約1.0Km
徒歩 12分・車 5分
- JR川越駅から約19km
電車 38分・車 36分
- 西武飯能駅から約4.7km
電車 7分・車 11分



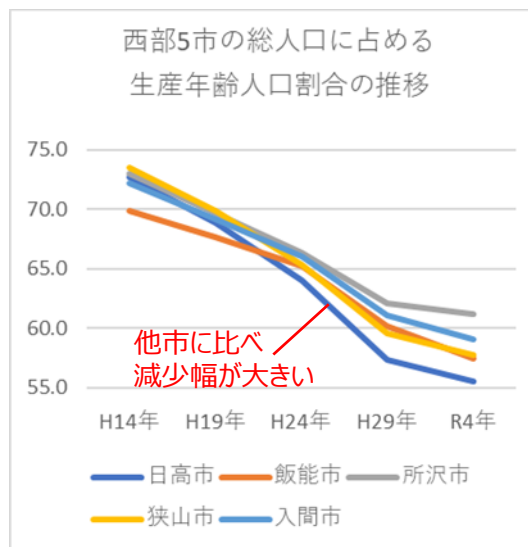
日高市の現状

人口減少が喫緊の地域課題となっており、特に生産年齢人口は周辺自治体と比較しても極めて低位。20代～30代(=日高で育った若者)の流出は深刻。

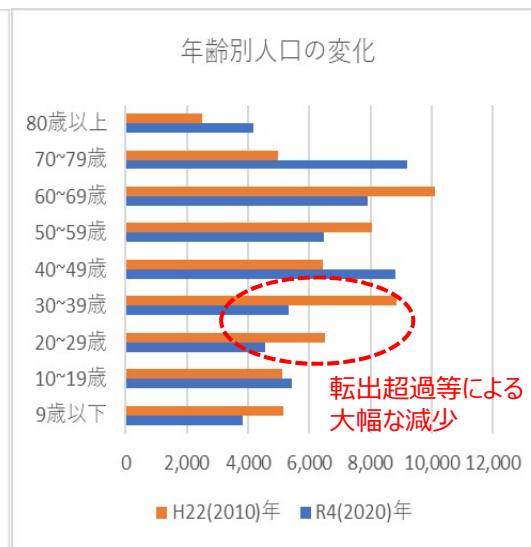
就労環境の創出を実現するために、工業団地整備や企業誘致に取り組む成果が見られるが若者は依然として減少傾向。「若者に魅力がある街」を共に形成していきたいと当社は考えています。

巾着田の現状

祭りや「遠足の聖地」ブランドの発信等により年間約64万人(R1年度)が来場する賑わいの場である一方、**地域に対する利益還元**は限定的。またBBQ客によるごみ問題、オンシーズンの交通渋滞等、オーバーツーリズムが発生している。「**適切な管理体制の構築**」を目的とした検討体制や担い手の創出、BBQ利用の有料化や地域経済循環の仕組みづくりを共に検討していきたいと考えています。



彩の国統計情報館より



日高市人口ビジョンより



飯能市HPより



飯能河原有料化実証実験
(令和4年5月)

オーバーツーリズム解消、地域経済循環等の巾着田エリアのミクロ的方針と、若者に魅力がある街の創造等の日高市のマクロ的方針の、双方実現に向けたエリアビジョン、そのための施設整備案の検討・策定を共に進めていきたいと考えています

【概要】

桜並木を始めとした、春の巾着田を楽しむイベント

【料金】

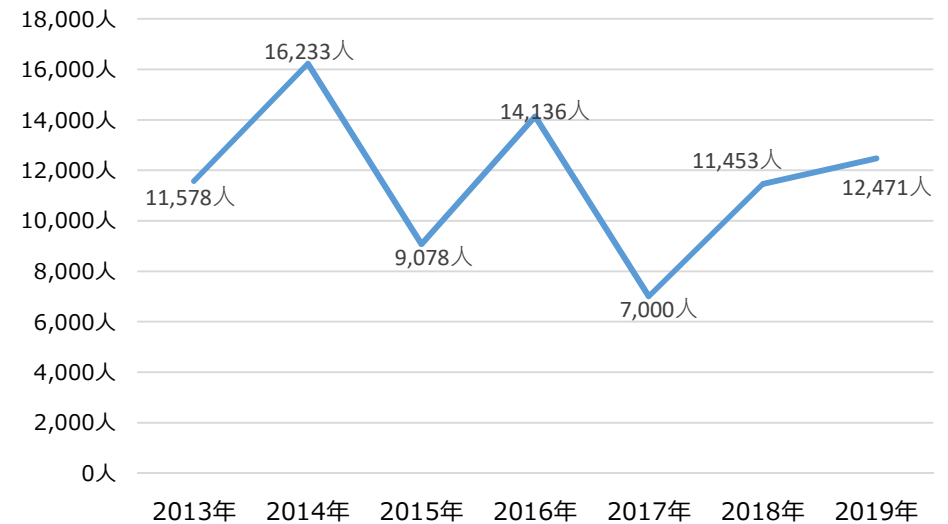
入場料：無料 駐車場料金：1台500円(固定金額)

【開催時期】

4月初旬(2日間)



巾着田菜の花まつり入込観光客数



【概要】

公園内に群生する曼珠沙華の開花を楽しめる地域の一大イベント

【料金】

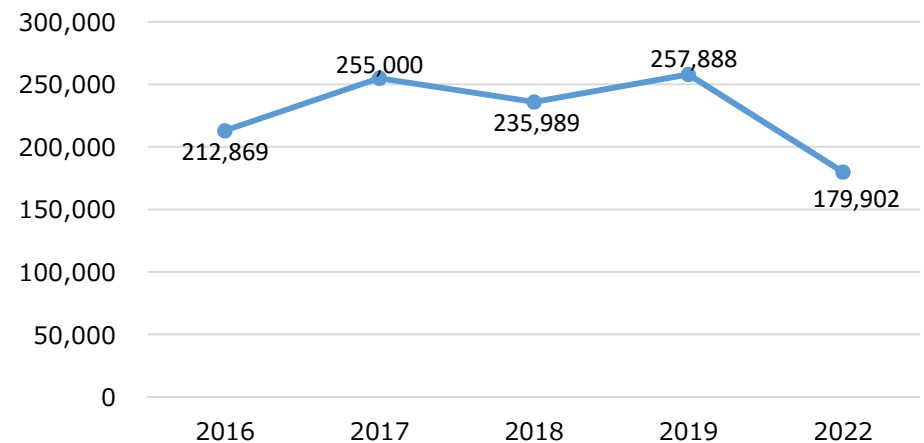
入場料：500円 駐車場料金：1台500円(固定金額)

【開催時期】

例年9月中旬～10月初旬(半月程度)



(人) 巾着田曼珠沙華開花時期来場者数



※年度により営業日数は異なる(2018年:年23日、2019年:30日、2022年:19日)

※2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

※2022年はシャトルバスの営業なし

【名 称】川の再生推進工事(日高地区河川利活用検討業務)その2

【事業期間】令和6年1月～10月

【受託者】(株)地域デザインラボさいたま ※協力：(株)埼玉りそな銀行

- 【主な業務】
- ① 協議会・部会の運営企画・開催支援
 - ② 河川利活用実証実験の企画・開催支援
 - ③ 民間企業向け実地視察会・ワークショップの開催

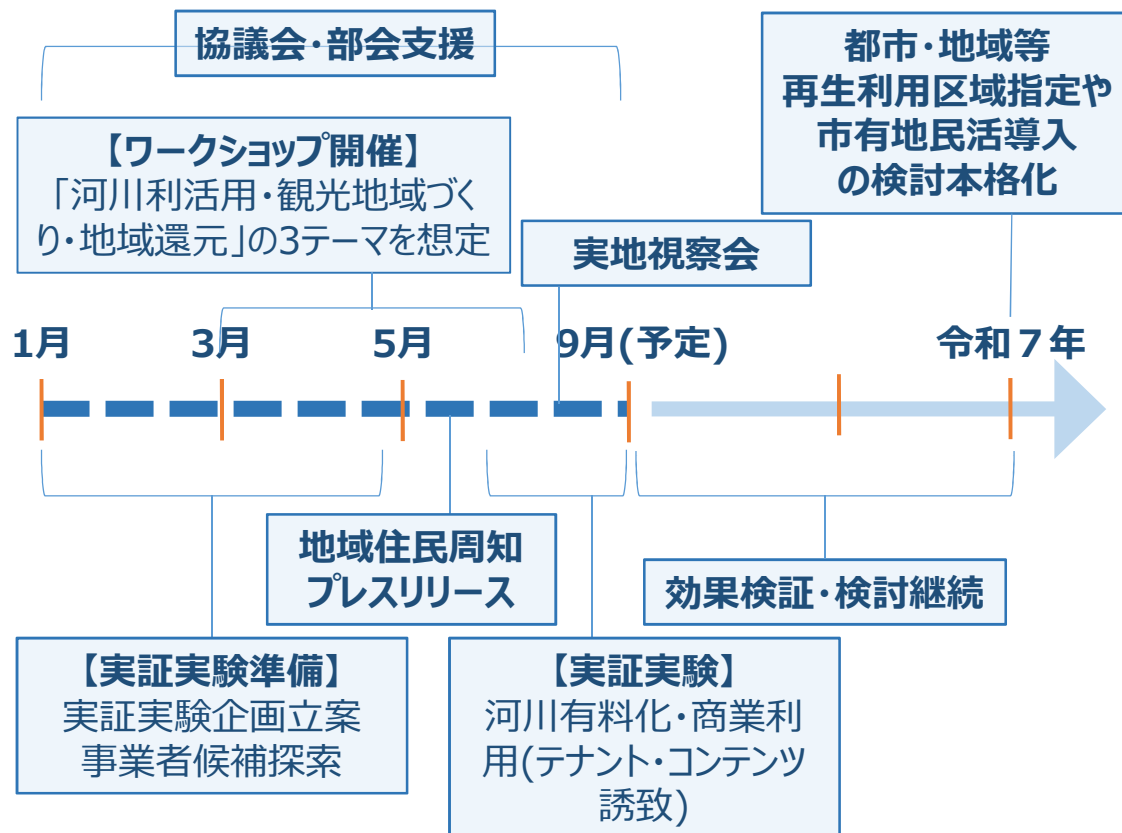
本業務実施の目的

- ✓ 協議会支援を通じて**利活用検討**を継続。また、巾着田の商業利用の在り方や実証実験の企画に部会が参画することで、地域の関係者の合意形成や意向の反映を実現。
- ✓ 実証実験や企業向け実地視察会の開催を通じて、**有料化・商業利用の効果**や**民活導入の可能性**を検証。
- ✓ ワークショップの開催により、地域の関係者の「**観光地域づくり**」に関する**理解醸成**を促進。

取り組む内容

業務内容・工程(案)

※工期延長の協議により内容は変更となる可能性有
※本業務期間以降の取組み案は矢印部分に記載

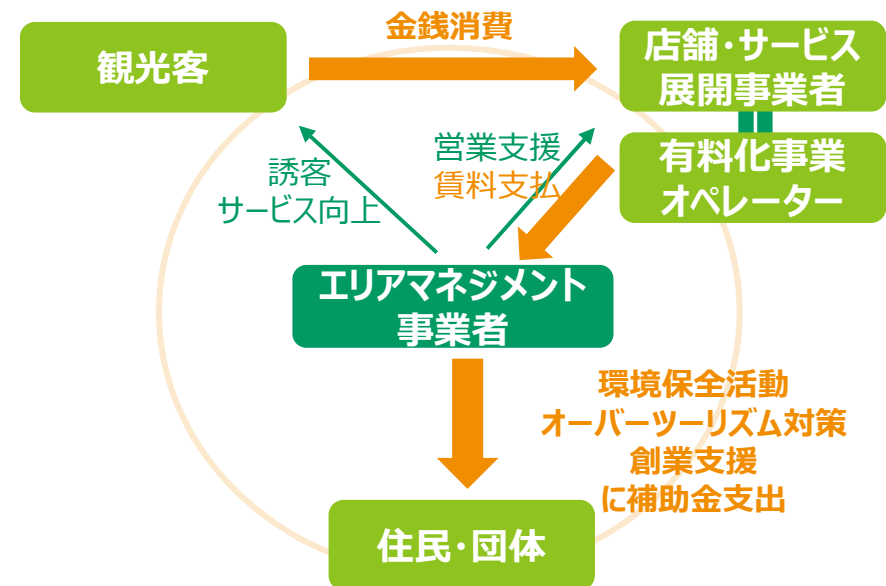


目指す姿

商業利用・循環モデル

※本業務では7～8月の実験実施を想定。

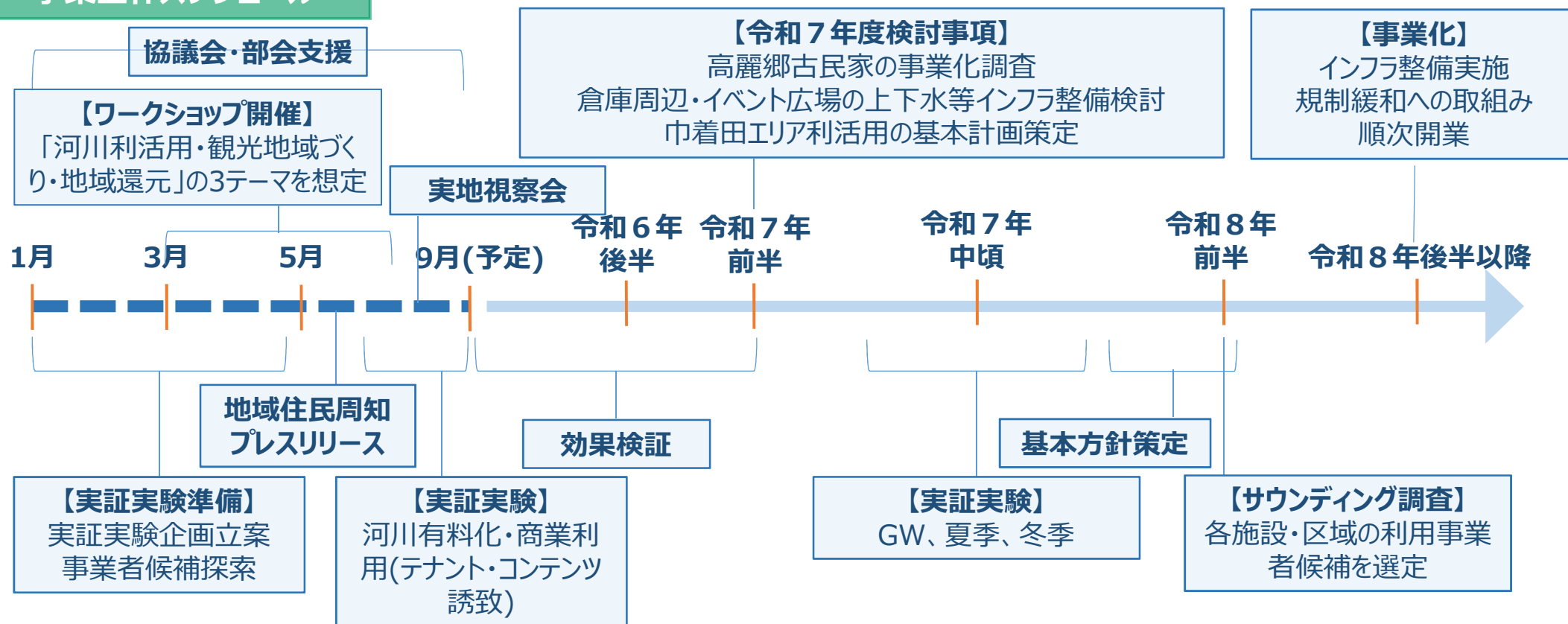
巾着田のオンシーズン(5月～10月)をターゲットとした民間事業者の進出を促進し、徐々に活用期間の拡大を図る。河川区域及び市有地を「エリアマネジメント事業者」が占有し、民間事業者に貸出することで「地域内経済循環」の創出を目指す。



ポイント

- ✓ 令和6年および令和7年の実証実験の効果検証を実施し、今後の取組に関する基本方針を策定。
- ✓ 令和7年度中に巾着田倉庫、イベントゾーン、高麗郷古民家等に必要となるインフラ・規制緩和を検討。

事業全体スケジュール



【ラボたまの当面の動き(5～6月)】

- ✓ 実証実験を実施する事業者の募集、選定の支援
- ✓ 実証実験及び実地視察会の準備、各所調整等
- ✓ 第2回ワークショップ(地域還元)の開催企画・実施準備(7月中旬に実施予定)

目的

- ✓ 河川区域における火気使用の有料化に関する、事業性の検証及び周辺環境への影響調査
- ✓ 河川区域及び都市公園、高麗郷古民家の商業利用に関する事業性の検証

当初概要

実験種別	日程	実施主体	実証内容	実施形態	実施区域
河川利用有料化	20日間 ※カレンダー参照	日高市 (県が協力)	火気使用の対価として料金を徴収	市委託業務	巾着田エリアの河川区域
商業利用	上記期間の内、実施主体が希望する日数	民間事業者	①河川利用有料化 ②商業利用	民間事業者による利用申請	①巾着田エリアの河川区域 ②巾着田曼珠沙華公園 ③高麗郷古民家

実施体制

カレンダー

図：実験実施日(青：有料化 緑：商業)

※事業者選定前の当初設定

日高市巾着田利用調整協議会
(仮)有料化・商業利用検討部会

活動承認

河川利活用実証実験本部

事務局：日高市産業振興課
埼玉県・ラボたま

参加者：日高市観光協会
委託・出店事業者

市から委託

施設・公園使用許可

有料化事業委託事業者

【実施者】
巾着田管理事務所
委託事業者(選定中)

商業利用事業出店事業者

【出店者】
カフェ・マルシェ出店・アクティ
ティ等

月	火	水	木	金	土	日
7月22日	23	24	25	26	27	28
29	30	31	8月1日	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25

配置図



利用条件等

- ・土地使用等は実証実験であり全て無償
- ・排水未整備のため、店舗型飲食店不可(テント営業の飲食提供は1品目まで)
- ・コンセプトである「原風景の維持・大規模施設の不設置」への理解
- ・出店期間における「アンケート調査・事業報告」への協力

有料化実施事業者選定

ポイント

- ✓ 計5社にヒアリングを実施し、参画意向を示した2社から企画案の提出を受ける。
- ✓ 2社はいずれも地域の事業者であり、類似事業の実施実績あり。
- ✓ 次年度以降の実証実験実施や将来的な事業化を見越した選定が求められる。



【別紙1】有料化実証実験 候補事業者比較シートをご参照ください。

商業利用実施事業者選定

ポイント

- ✓ 巾着田倉庫、高麗郷古民家、多目的広場の活用を主眼に置いた取り組みを募集。
- ✓ 常設店舗設置の検討が可能な巾着田倉庫と、キッチンカーゾーンでは複数日の出店を誘致。
- ✓ 高麗郷古民家、イベントゾーンでは非常設出店を誘致し、利用者・事業者からの意見を収集。



【別紙2】商業利用実証実験 調整状況資料をご参照ください。